

ディベート

「便秘型 IBS」



「機能性便秘と全く違う疾患である」
とする立場から

中島 淳

横浜市立大学大学院医学研究科肝胆腸消化器病学主任教授

進行・議論整理

三輪洋人

兵庫医科大学内科学
消化管科主任教授

「機能性便秘と基本的には同じ疾患である」
とする立場から

内藤裕二

京都府立医科大学大学院医学研究科
消化器内科学准教授

本企画は、問題点をより明確にすることを目的としているため、ここでの論者による議論は、あえて一方の見地に立った場合のものであり、必ずしも論者自身の確定した意見ではありません。

便秘とは何か？ なぜ便秘が重要か？

三輪 今回は、「便秘型過敏性腸症候群 (irritable bowel syndrome : IBS)」をテーマとしてディベートを行いたいと思います。内藤先生には「機能性便秘と基本的には同じ疾患である」とする立場、中島先生には「機能性便秘と全く違う疾患である」とする立場にあえて立っていただき、論点を整理しながら理解を深めたいと思います。まず、「便秘とは何か、なぜ便秘が重要か」という話題から始めたいと思います。

内藤 2017年10月、日本消化器病学会関連研究会 慢性便秘の診断・治療研究会編集による「慢性便秘症診療ガイドライン2017」が発刊されました。便秘についての診療ガイドラインはわが国初のもので、便秘の定義としては「本来体外に排出すべき糞便を十分量かつ快適に排出できない状態」とシンプルな表現とされました。便秘については、消化